

ずっと安心 ずっと快適

持続可能な自治会のカタチ

令和7年1月 栗東市

自治会とは？

「**地域の人同士助け合って暮らしていく**」という精神を地域の人々の中で盛り上げ、
お互いを認め合う人権尊重の意識を高めながら、**住みよい地域を築いていく**
大切な役割を担っている団体

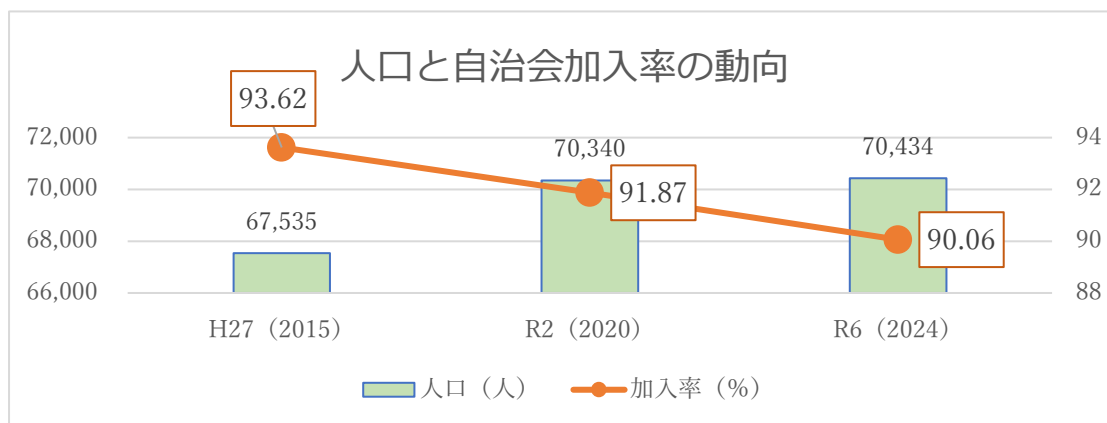
－自治会の基本的な考え方（「自治会の手引き 令和6年度版」より）－

自治会の活動としては、①地域振興・情報発信、②環境美化・保全、③安全・安心、④子どもの健全育成、⑤文化・スポーツ事業 などがあり、**地域で安心・快適に暮らしていくために欠かせない団体** なのです。

自治会のメリットとして、①地域住民の交流を深めることができる、②地域の困りごとの解決に向けて話し合いができること、③災害時に助け合えること、④子どもたちや高齢者の見守り等を通じ安心安全な地域づくりにつながること 等が挙げられます。

栗東市の自治会の現状

○自治会加入率が下がっています



出典：(人口) 市統計係人口データ (加入率) 自治振興課調べ

○懸念されること

1 人口減少と高齢化について

本市の人口は今後減少局面に向かうことが予想されています。

また、市では、令和27年度には65歳以上人口が総人口の3割程度を占めると推測しています。人口減少と高齢化が進むことで、自治会役員をはじめ様々な分野で担い手不足がより深刻になるおそれがあります。

2 防災・安全について

空き家、空き地が増えると、地域の治安や衛生環境の悪化、建物倒壊による事故や災害リスクが増大します。

3 地域からの要望、地域への支援について

行政は、自治会を通して地域からの要望を受け、地域への支援をしていますが、地域組織の弱体化により行政への声が届きにくくなることが懸念されます。

令和6年度の実績

次のような取り組みを行いました。

1. 市から自治連合会に依頼する委員会への委員依頼数の見直しを実施

市から自治連合会に依頼している委員会への委員依頼数の見直しを行いました。

	令和6年度	令和7年度	削減数
委員数	78	38	▲40
委員会数	36	26	▲10

2. 市への補助金申請がWebで可能に

自治会活動交付金のWeb申請手続きができるようにしました。

(自治会文書配布事業、生涯学習のまちづくり事業、環境保全事業、児童遊園管理事業)

アクセス方法

① 栗東市ホームページ TOP 画面



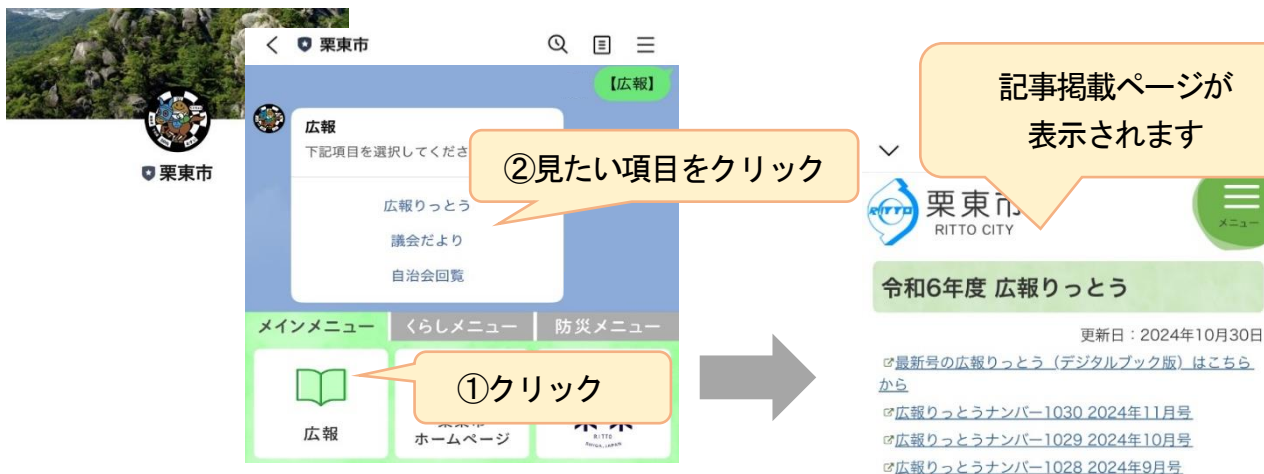
② こちらで検索

栗東市 自治会活動交付金



3. 広報・地域からのお知らせを市公式LINEで配信

令和6年9月より、市公式LINEを通じ広報や自治会への回覧文書の情報を取得できるようにしました。



今後取組みが必要な課題



市民と行政が一緒に取り組んで
いきましょう

自治会が抱える課題（自治会役員の選出や自治会運営など）と行政課題（広報、ごみ など）を整理したうえで、解決にむけた取組を行っていく必要があります。

1 自治会役員や市が自治会に依頼している委員等のなり手不足

高齢化等によりやむなく同じ方が連続して自治会長をされている自治会がたくさんあります。
令和6年度自治会長のうち、3年目以上会長職就任者数 31名（全125自治会中 24.8%）
自治会役員以外（民生委員・児童委員、選挙投票立会人、国勢調査員 等）も、なり手不足が深刻になっています。

2 広報紙等の配布物

すべての市民に効果的に配布するため、自治会を通じて広報紙等の配布をお願いしています。
配布費用は行政事務委託料として支払をしていますが、各戸への配布や市以外が発行したチラシ等を広報紙に挟み込む作業が課題です。

3 ごみ集積場の維持管理

市民（自治会）に対しても一般廃棄物処分に係る協力としてごみ集積場の設置及び管理をお願いしていますが、自治会役員の高齢化やなり手不足のため、立ち当番を含め集積場の維持管理が課題となっています。

また、自治会未加入の方が集積場を利用することについての理解促進が必要です。

4 公園の管理

草刈りをはじめとする管理を各自治会をお願いしていますが、役員の高齢化等により管理が困難になっています。

5 各種委員会等への参画

地域の意見を市政に反映するため、市が主催する各種委員会等への委員を役員の方等をお願いしていますが、役員が複数の委員を兼ねている状況が多数あり、役員の負担増につながっています。

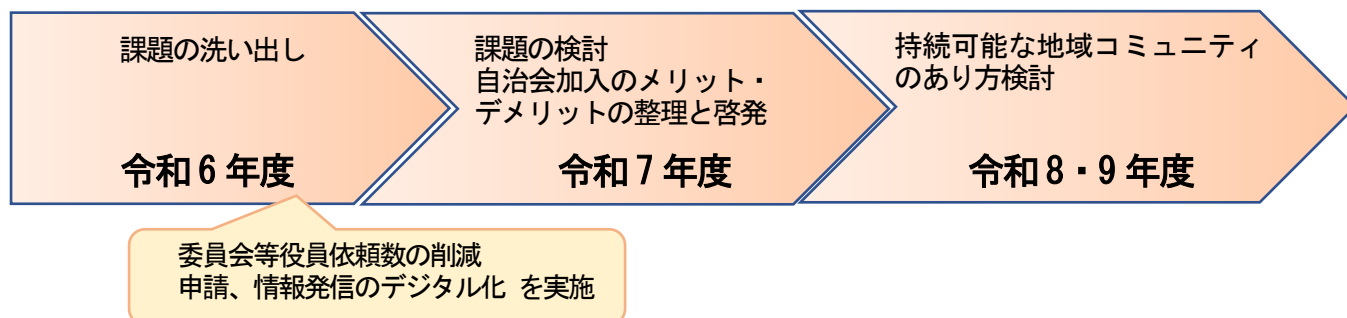
6 市への手続き

補助金の申請等、市に提出する書類の作成に関する負担が課題となっています。

これからの取組み

令和10年度にはよりよい自治会運営ができることをめざし、次のような取組みを行っていきます。
(取組の進捗状況は毎年度末に公表予定)

持続可能な自治会活動に向けての取組み検討スケジュール



1. 自治会や市民へのアンケート調査

自治会活動の棚卸しやニーズの把握、地域独自の課題などを洗い出していきます。
また、自治会加入に対するメリットや必要性を整理し、加入率低下の抑制を図っていきます。

2. 担い手の確保にむけた取組みの実施

現役世代が参加しやすい自治会をめざし、他自治体等の好事例の紹介等を行っていきます。

3. デジタル化の更なる推進

役員の負担軽減、自治会に関する積極的な情報発信のため、デジタルツールの活用をさらに進めていきます。

4. 市から各自治会に依頼する委員会等への委員依頼数の見直し・削減

自治会役員の負担軽減のため、市から自治会に依頼している委員会への委員依頼数の見直し・削減をしていきます。

令和7年度から一部削減を実施する予定ですが、引き続き削減に向け取り組んでいきます。

5. 自治会への新規加入にむけた取組み

集合住宅等の建築主や不動産協会、宅建協会に対し、自治会加入促進の協力を依頼していきます。
令和10年度を目途に、自治会加入率を令和6年度(90.06%)より上回ることを目指します。

6. 課題解決のための意見交換

市職員で構成するプロジェクト会議(令和6年度設置)の体制充実、自治会と市による課題解決ミーティング等の開催により、自治会の課題解決にむけ議論していきます。

自治会のあり方を検討するとともに、地域振興協議会の体制や事業の見直しについても議論をすすめ、よりよい自治会活動、地域振興協議会となるよう、ともに取り組んでまいります。

変更前

資料 2

ずっと安心 ずっと快適

持続可能な自治会のカタチ

令和 7 年 1 月 栗東市

自治会とは？

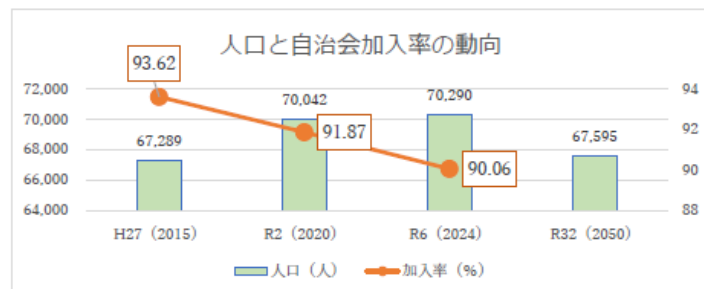
「地域の人同士助け合って暮らしていく」という精神を地域の人々の中で盛り上げ、お互いを認め合う人権尊重の意識を高めながら、**住みよい地域を築いていく**大切な役割を担っている団体

—自治会の基本的な考え方（「自治会の手引き 令和 6 年度版」より）—

つまり、**地域で安心・快適に暮らしていくために欠かせない団体** なのです。

栗東市の自治会の現状と課題

○自治会加入率が下がっています



出典：（人口）H27・R2…は令和 5 年度栗東市統計書より

R32…国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計人口（令和 5 年公表）
（加入率）自治振興課調べ

○地域の課題対応について

地域のさまざまな課題について解決に向けた取組が必要です。

1 人口減少と高齢化

本市の人口は今後減少局面に向かうことが予想されています。

また、65 歳以上の人口が総人口の 3 割程度を占める見通しです。

令和 2 年：68,820 人、19.2% → 令和 32 年：67,595 人、30.3%

（出典 国勢調査）

（出典 社人研公表データ（令和 5（2023）年度推計））

人口減少と高齢化が進むことで、自治会役員をはじめ様々な分野で担い手不足がより深刻になるおそれがあります。

変更後

資料 2

ずっと安心 ずっと快適

持続可能な自治会のカタチ

令和 7 年 1 月 栗東市

自治会とは？

「地域の人同士助け合って暮らしていく」という精神を地域の人々の中で盛り上げ、お互いを認め合う人権尊重の意識を高めながら、**住みよい地域を築いていく**大切な役割を担っている団体

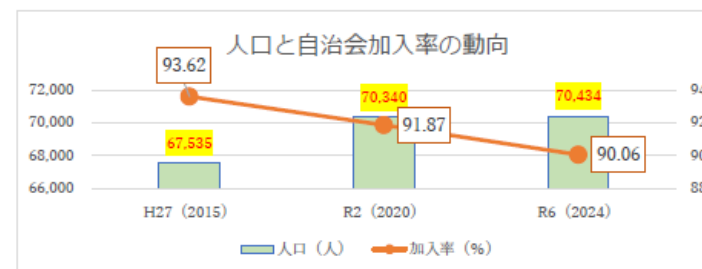
—自治会の基本的な考え方（「自治会の手引き 令和 6 年度版」より）—

自治会の活動としては、①地域振興・情報発信、②環境美化・保全、③安全・安心、④子どもの健全育成、⑤文化・スポーツ事業 などが、**地域で安心・快適に暮らしていくために欠かせない団体** なのです。

自治会のメリットとして、①地域住民の交流を深めることができる、②地域の困りごとの解決に向けて話し合いができること、③災害時に助け合えること、④子どもたちや高齢者の見守り等を通じ安心安全な地域づくりにつながること 等が挙げられます。

栗東市の自治会の現状

○自治会加入率が下がっています



出典：（人口）市統計係人口データ （加入率）自治振興課調べ

○懸念されること

1 人口減少と高齢化について

本市の人口は今後減少局面に向かうことが予想されています。

また、市では、令和 27 年度には 65 歳以上人口が総人口の 3 割程度を占めると推測しています。人口減少と高齢化が進むことで、自治会役員をはじめ様々な分野で担い手不足がより深刻になるおそれがあります。

2 防災・安全について

空き家、空き地が増えると、地域の治安や衛生環境の悪化、建物倒壊による事故や災害リスクが増大します。

2 防災・安全への対応

空き家、空き地が増えると、地域の治安や衛生環境の悪化、建物倒壊による事故や災害リスクが増大します。

3 地域への要望、支援について

行政は、自治会を通して地域からの要望を受け、地域への支援をしています。
自治会加入率が低下傾向のなか、行政は全住民のニーズをどのように把握するかが課題です。

○自治会役員の負担について

市から自治会にお願いしている事業等への負担軽減を考えていかなければなりません。

自治会への負担が特に大きいと思われる事業

1 自治会役員のなり手不足

高齢化等によりやむなく同じ方が連続して自治会長をされている自治会がたくさんあります。
令和6年度自治会長のうち、3年目以上会長職就任者数 31名（全125自治会中 24.8%）
自治会役員以外にも、なり手不足が深刻になっています。
民生委員・児童委員、選挙投票立会人、国勢調査員 等

2 広報紙の配布

すべての市民に効果的に配布するため、自治会を通じて広報紙の配布をお願いしています。
各戸への配布や市以外が発行したチラシ等を広報紙に挟み込む作業が大きな負担になっています。
また、自治会未加入世帯の把握の難しさもあります。

3 ごみ集積場の維持管理

ごみ収集に要する時間の効率および費用対効果の観点から、ごみ集積場の維持管理を自治会にお願いしていますが、役員の高齢化やなり手不足のため、立ち当番を含め集積場の維持管理が大きな負担になっています。
また、自治会未加入の方が集積場を利用することについての課題整理が必要です。



4 公園の管理

草刈りをはじめとする管理を各自治会にお願いしていますが、役員の高齢化等のため、管理への負担が大きくなっています。



5 地区別懇談会

地域のつながりや人権に関する学びへの取組みとして、懇談会の企画運営を各自治会にお願いしていますが、役員（社会人権教育推進員）のなり手不足のため大きな負担になっています。

3 地域からの要望、地域への支援について

行政は、自治会を通して地域からの要望を受け、地域への支援をしています。が、**地域組織の弱体化により行政への声が届きにくくなる**ことが懸念されます。

令和6年度取組み

次のような取組みを行いました。

1. 市から自治連合会に依頼する委員会への委員依頼数の見直しを実施

市から自治連合会に依頼している委員会への委員依頼数の見直しを行いました。

	令和6年度	令和7年度	削減数
委員数	78	38	▲40
委員会数	36	26	▲10

2. 市への補助金申請がWebで可能に

自治会活動交付金のWeb申請手続きができるようにしました。
（自治会文書配布事業、生涯学習のまちづくり事業、環境保全事業、児童遊園管理事業）

アクセス方法

① 栗東市ホームページTOP画面



② こちらで検索

栗東市 自治会活動交付金

3. 広報・地域からのお知らせを市公式LINEで配信

令和6年9月より、市公式LINEを通じ広報や自治会への回覧文書の情報を取得できるようにしました。



6 各種委員会等への参画

地域の意見を市政に反映するため、市が主催する各種委員会等への委員を役員の方等をお願いしていますが、役員が複数の委員を兼ねている状況が多数あり、役員の負担増につながっています。

7 市への手続き

補助金の申請等、市に提出する書類の作成に関する負担が課題となっています。

上記以外にもさまざまな課題があります。

令和6年度取組み

次のような取組みを行いました。

1. 市への補助金申請がWebで可能に

自治会活動交付金のWeb申請手続きができるようにしました。

(自治会文書配布事業、生涯学習のまちづくり事業、環境保全事業、児童遊園管理事業)

アクセス方法

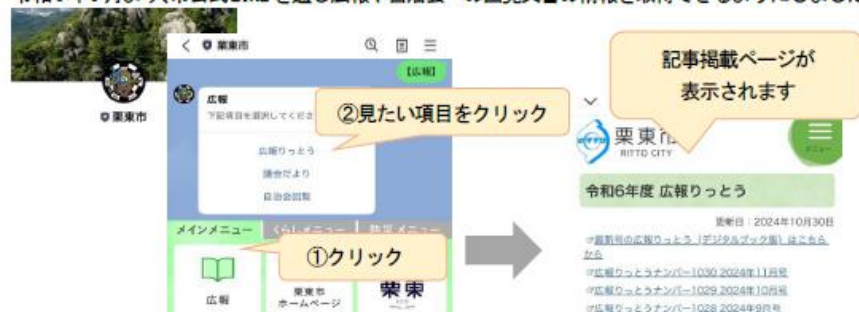
① 栗東市ホームページTOP画面



② こちらで検索 栗東市 自治会活動交付金

2. 広報・地域からのお知らせを市公式LINEで配信

令和6年9月より、市公式LINEを通じて広報や自治会への回覧文書の情報を取得できるようにしました。



今後取組みが必要な課題

自治会が抱える課題(自治会役員の選出や自治会運営など)と行政課題(広報、ごみなど)を整理したうえで、解決にむけた取組を行っていく必要があります。



市民と行政が一緒に取り組んでいきましょう

1 自治会役員や市が自治会に依頼している委員等のなり手不足

高齢化等によりやむなく同じ方が連続して自治会長をされている自治会がたくさんあります。

令和6年度自治会長のうち、3年目以上会長職就任者数 31名(全125自治会中 24.8%)

自治会役員以外(民生委員・児童委員、選挙投票立会人、国勢調査員等)も、なり手不足が深刻になっています。

2 広報紙等の配布物

すべての市民に効果的に配布するため、自治会を通じて広報紙等の配布をお願いしています。

配布費用は行政事務委託料として支払っていますが、各戸への配布や市以外が発行したチラシ等を広報紙に挟み込む作業が課題です。

3 ごみ集積場の維持管理

市民(自治会)に対しても一般廃棄物処分に係る協力としてごみ集積場の設置及び管理をお願いしていますが、自治会役員の高齢化やなり手不足のため、立ち当番を含め集積場の維持管理が課題となっています。

また、自治会未加入の方が集積場を利用することについての理解促進が必要です。

4 公園の管理

草刈りをはじめとする管理を各自治会をお願いしていますが、役員の高齢化等により管理が困難になっています。

5 各種委員会等への参画

地域の意見を市政に反映するため、市が主催する各種委員会等への委員を役員の方等をお願いしていますが、役員が複数の委員を兼ねている状況が多数あり、役員の負担増につながっています。

6 市への手続き

補助金の申請等、市に提出する書類の作成に関する負担が課題となっています。

3. 自治会課題プロジェクト会議

自治会が抱える課題解決にむけて対応策を検討するため、「自治会課題プロジェクト会議」を立ち上げ、関係各課の職員を集めて議論しました。

令和6年度に実施した内容

- ・プロジェクト会議 3回
- ・課題の共有、今後の課題解決にむけた取組について検討を依頼
- ・市から各自治会に依頼している委員等の状況を庁内各課へ調査
- ・市議会議員へのアンケート
- ・市から各自治会に依頼している委員等の依頼数削減にむけた各課へのヒアリング

今後も課題解決にむけて対応策の検討を続けていきます。

これからの取組み

今後、次のような取組みを行っていきます。

1. 自治会や市民へのアンケート調査

自治会活動の棚卸しやニーズの把握、地域独自の課題などを洗い出していきます。
また、自治会加入に対するメリットや必要性を整理し、加入率低下の抑制を図っていきます。

2. 担い手の確保にむけた取組みの実施

現役世代が参加しやすい自治会をめざし、他自治体等の好事例の紹介等を行っていきます。

3. デジタル化の更なる推進

役員の負担軽減、自治会に関する積極的な情報発信のため、デジタルツールの活用をさらに進めていきます。

4. 市から各自治会に依頼する委員会等への委員依頼数見直し

市から自治会に依頼している委員会への委員依頼数を削減し、自治会役員の負担軽減につなげていきます。
令和7年度から一部削減を実施する予定ですが、引き続き削減に向け取り組んでいきます。

5. 自治会への新規加入にむけた取組み

集合住宅等の建築主や不動産協会、宅建協会に対し、自治会加入促進の協力を依頼していきます。
令和10年度を目途に、自治会加入率を令和6年度（90.06%）より上回ることを目指します。

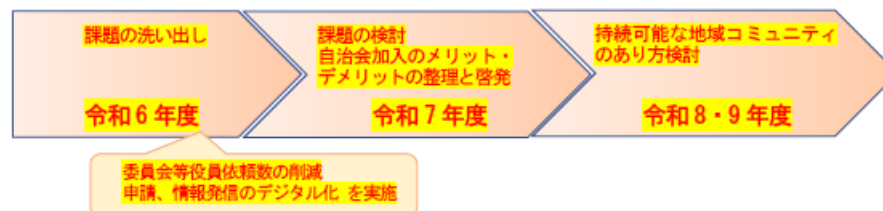
**持続可能な自治会活動にむけ、
自治会、行政とともに進めていきましょう。**

これからの取組み

令和10年度にはよりよい自治会運営ができることをめざし、次のような取組みを行っていきます。

（取組の進捗状況は毎年度末に公表予定）

持続可能な自治会活動に向けての取組み検討スケジュール



1. 自治会や市民へのアンケート調査

自治会活動の棚卸しやニーズの把握、地域独自の課題などを洗い出していきます。
また、自治会加入に対するメリットや必要性を整理し、加入率低下の抑制を図っていきます。

2. 担い手の確保にむけた取組みの実施

現役世代が参加しやすい自治会をめざし、他自治体等の好事例の紹介等を行っていきます。

3. デジタル化の更なる推進

役員の負担軽減、自治会に関する積極的な情報発信のため、デジタルツールの活用をさらに進めていきます。

4. 市から各自治会に依頼する委員会等への委員依頼数の見直し・削減

自治会役員の負担軽減のため、市から自治会に依頼している委員会への委員依頼数の見直し・削減をしていきます。
令和7年度から一部削減を実施する予定ですが、引き続き削減に向け取り組んでいきます。

5. 自治会への新規加入にむけた取組み

集合住宅等の建築主や不動産協会、宅建協会に対し、自治会加入促進の協力を依頼していきます。
令和10年度を目途に、自治会加入率を令和6年度（90.06%）より上回ることを目指します。

6. 課題解決のための意見交換

市職員で構成するプロジェクト会議（令和6年度設置）の体制充実、自治会と市による課題解決ミーティング等の開催により、自治会の課題解決にむけて議論していきます。

自治会のあり方を検討するとともに、地域振興協議会の体制や事業の見直しについても議論をすすめ、よりよい自治会活動、地域振興協議会となるよう、ともに取り組んでまいります。